

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 29 年 5 月 22 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490900150		
法人名	株式会社サンクリエイト		
事業所名	西町グループホーム		
所在地	広島県三原市西町一丁目10番8号 (電話) 0848-62-9531		
自己評価作成日	平成29年4月21日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2016_022_kani=true&JigyosyoCd=3490900150-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成29年5月17日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

・ご利用様が心穏やかに笑顔で毎日を過ごしていただけるよう、理念を生かしスタッフがご利用者様一人一人を大切に見守り、声掛けを行い、「安心・安全」のケアを心がけています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

“利用者職員が家族になれるように、利用者の笑顔が増えて、笑って過ごして頂くためにはどうしたら良いか”常に考え、職員間で話し合いを重ね、支援をされている。家族との交流を大切に、細目にホームでの生活状況の報告により、信頼関係の構築が出来ている。それにより、大半の家族は月1回程度は面会に来られ、利用者家族と一緒に過ごす時間により、利用者の笑顔が増えている。個別対応を基本とし、「思いやりをもって本人が落ち着くように」心掛けた対応をしている。管理者は今年（H29年5月）に就任したばかりで、基本理念“地域との交流を大切にしていきます”の下に、今後は地域との交流・外部との交流を行い、ボランティアなどの協力者を増やし、活気と触れ合う環境づくり、家族の要望に応えられるように職場内研修の充実を図り、職員個々のサービスの質の向上を図る取り組みをしていきたいと考えている。

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	玄関フロア、スタッフルーム(1・2F)に掲げ、スタッフの名札に入れ常時目が届くようにしています。またスタッフ入社時に説明し、スタッフ全員が共有しています。	職員の名札の裏に、理念を記載し、個々が、その都度振り返り理念に沿った支援が出来るようにしている。職員個人目標を作り上げ、理念と照らし合わせながら、日々実践されている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している。	民生委員や近隣の方にボランティア等の慰問をお願いしています。高齢者相談センター主催で出前講座・体操教室を実施し、交流が活発になるよう努めています。	高齢化率が40%のこともあり、関わりが難しい状況である。今後、グループホームの理解を深めるためにも近隣の幼稚園、小学校、ボランティアなどに声を掛けて、近隣者の協力者を増やしていきたいと考えている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	定期的に地域の掃除等に参加し、施設での生活や実状等を会話を通してお伝えしています。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2か月に1度開催し、運営状況等を報告し、また出席者との意見交換を行っています。	以前は、家族が特定(代表者)の1人のみであったが、他の家族への参加を促し、1人追加の実現により、2か月に1回交互に参加されている。地域包括支援センターからの提案により、「元気づくり教室」を今月(平成29年5月)より、実施予定である。今後、認知症の理解を広げる取り組みを考えている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営推進会議に参加して頂いています。また不明な事があれば、その都度相談させていただいています。	市担当者は運営推進会議に参加されている。インフルエンザが流行しているなど注意喚起のアドバイスを受けている。必要時には電話連絡などで相談し、協力関係が築けるようにしている。	

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>系列の施設と共同でマニュアルを作成し、ミーティングや勉強会でスタッフに周知を図っています。</p>	<p>玄関は、日中は開放している。マニュアルを作成し、月1回のミーティングを通して、確認・見直しをしている。今後も研修の充実を図り、職員個々のスキルアップを目指す準備をしている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>施設外の研修参加、施設内の勉強会で理解を深めたり意見交換を行っています。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>勉強会で資料を配布し説明を行っています。新入職員にはオリエンテーションの際に、資料を配布し説明しています。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居時の契約時に、締結・解約・改定等の説明を行い、ケアプラン見直し時に不明点は随時対応する旨伝え、不安や疑問を払拭するよう努めています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>運営推進会議に家族代表に参加して頂き意見交換の場を設けています。利用者様には、日々の生活の中から要望されていることを汲み取るよう努めています。</p>	<p>毎月のホーム便りの送付や定期的（月1回程度）の家族面会時には日頃の様子をお知らせをしている。日々変わったことがあれば、管理者またはリーダー職員より、家族へ随時連絡している。利用者の個々の要望などは、日々の関わりから汲み取るように努力されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月に1度のミーティングでスタッフの意見等を聞く機会を設け、管理者から代表者に提案したり必要に応じ個人面談を実施しています。</p>	<p>月1回のミーティングを行い、意見などを聴く機会を設け、管理者から代表者に提案している。必要に応じて個人面談を実施している。職員がストレスを溜めないように、必要な方は、外部の臨床心理士が週1回訪問され、職員のストレスケア・カウンセリングの対応をしている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>代表者は不定期にスタッフと面談を行い、研修会に参加してスキルアップできるよう支援を行っています。また管理者・リーダーと会議を行いスタッフの意見等を踏まえ職場環境の整備に努めています</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>施設外の研修会に参加できるよう配慮し、施設内では担当スタッフが指導者となって勉強会を実施しています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>地域で開催される研修会に参加し他施設の職員と意見交換や実践成功例を持ち帰りスタッフに伝達しています。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>利用開始前に管理者・ケアマネが話を傾聴しながら関係を築いています。利用開始以降はスタッフが十分関わりを持ちながらケアを行っています。</p>		

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	利用者様同様、家族様に対しても先ず管理者・ケアマネが話を傾聴し関係を築いています。スタッフは利用者様との関わりを持ちながら徐々に家族様と様々な会話ができる関係を築いています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	利用者様の意思が確認できない場合、家族様より話を伺い、どのようなことを必要としているのか判断してサービスを提供している。必要とされていることが変われば随時対応しています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	利用者様とゆったりとした時間の中で、利用者様同士またスタッフも一緒にレクや会話を楽しんだり十分な関わりを持つよう努めています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	日用品を持参して頂いた時や面会時に日頃の生活の様子や心身の状態等お話しています。その会話の中で家族様の要望を聞き、スタッフと協力し合うことでお互いの理解を深められるよう努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	電話の取次ぎや面会の受け入れをしています。面会者多数の時は場所(会議室)を提供し、ゆっくり話ができるようにしています。	家族の協力を頂き、以前の美容院へ行く方もおられる。電話の取次ぎや面会者多数の場合は、会議室を提供し、ゆっくりと過ごせるように配慮している。	

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	<p>利用者様の関係性を十分把握し、無理のないよう穏やかに楽しい時間が過ごせるようスタッフが配慮しています。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	<p>サービス終了時に、今後も相談等対応できる旨お伝えしています。</p>		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>日頃の会話の中から利用者様から思いを汲み取り、家族様には面会時・ケアプラン説明時に聞き取って支援を検討し実施に努めています。</p>	<p>個々の生活歴を把握するなかで、利用者の顔の表情や声のトーンなど日々の会話や行動などを個人ファイルに丁寧に記録し、職員全員が共有している。利用者個々の希望や意向は反映され、可能なことは実現できるように支援している。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	<p>アセスメント情報や利用者様・家族様からの聞き取りから把握し施設での生活に活かせるよう努めています。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	<p>利用者様の担当を設けています。1対1での関わりも意識して持ち、利用者様の理解を深めるよう努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>利用者様・家族様から要望等を聞き取り、ケアマネを中心に利用者様担当スタッフとケアプランを作成しています。全スタッフでサービスの実施・モニタリングを行い毎月カンファレンスを行っています。</p>	<p>“職員の声掛けにより、本人の笑顔を引き出すように”常に考えている。利用者および家族の要望を踏まえて、介護計画を作成及び実施をしている。本人の状況を把握しながら家族に意向を聴いてプランの作成を見直している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>毎日の個別記録、申し送りでは情報や心身の状態の共有を図っています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>ニーズの変化に対応できるよう、その都度スタッフ間で検討し日々のケアの充実に努めています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域のボランティアを受け入れ、地域の情報を収集しています。地域と施設が協力し合える体制づくりに努めています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>利用者様希望の往診医の受け入れ、転院する場合は紹介状の依頼を受け付けています。受診時には主治医宛の情報提供書を家族様にお渡ししています。</p>	<p>入居時に相談し、かかりつけ医を決めているが、大半の利用者がホームの協力医を主治医としている。24時間相談できる体制と主治医の応診が月2回あり、一人ひとりの健康チェックをしている。往診ファイルで情報を共有しながら対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	日頃から状態観察を行い気付き等報告する体制をとり異変時や急変時には往診・受診の判断をお願いしています。また24時間体制で連携が図れるように緊急時対応を行っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ケアマネとソーシャルワーカーが連携を取りながら情報交換を行っています		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	看取りケアは行っていないが、最期まで安心して生活して頂けるよう可能な限りの支援を行っています。	医療行為ができないため、看取りの経験は今のところ無い状況である。重度化やターミナルケアに向かう事例が出た場合には、その都度、主治医や家族との話し合いを重ねての対応としている。今後は、看取りができる体制づくりに努めていきたいと考えている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	消防署主催の救命救急講習の受講、救急マニュアルの活用、日々のケアから実践力を身につけるよう努めています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回行う防災訓練で、地震津波時の訓練を実施しています。避難場所を決め避難経路マップを作成しています。	年2回の訓練、地震津波時の訓練を実施している。災害時は、初期行動が必要なため、運営推進会議で災害対策についての話し合いをしている。町内に案内をし、近隣住民と一緒に訓練をした経緯がある。	

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	施設内の認知症研修（初任者・中級者・上級者）を受け、認知症を理解・再認識し、思いやりを持ったケアを提供しています。	施設内研修では、職員が講師となり、勤続年数に応じた認知症研修（初任者・中級・上級者）を実施している。常に、基礎・初心に戻り、日々の言葉掛けも、一人ひとりの性格やペースに合わせて対応している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ゆっくり時間をかけて関わりを持ち、利用者様の思いを傾聴するため話しやすい雰囲気作りに努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	利用者様の好みを把握し、レクや家事提供等の支援をしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	日々の整容や散髪時には利用者様ごとのカットをお願いしています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	テーブルや食器拭きのお手伝いをお願いしています。一緒におやつや巻き寿司を作りながら「食」の楽しみを持って頂いています。	敬老会には、利用者と家族と一緒に食事をされている。食事が進まない方は、甘酒や高カロリー飲料を提供し、家族の協力を得て、差し入れをして頂き、食の楽しみをもって頂くようにしている。適宜、おやつ作り（お好み焼き、ホットケーキ、たこ焼きなど）を行っている。	

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事・水分量をチェックし、不足時は代替品で対応しています。嚥下困難な利用者様にはソフト食等随時対応しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	利用者様の状態に応じ、声かけ・見守り・介助を行っています。希望される方には歯科医師の往診を受け付けています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄チェック表を活用し、個別に排泄の誘導・声かけ・介助を行い「トイレでの排泄」に努めています。	状態に合わせてのトイレ誘導や身体状況に応じて、ベッド近くに、ポータブルトイレの設置をしている。「トイレに行きたい」との意向があり、本人の身体状況を見極めながら、紙オシメから紙パンツへ移行した方がいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	看護師や主治医と相談し、個別の状態に応じ乳製品の摂取や薬剤の服用で便秘の予防に努めています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	スタッフ1人が声かけから整容まで担当し、毎日午後2～4名の入浴介助を行っています。歌好きの方には一緒に歌を歌ったり、会話を楽しんで頂いています。風呂嫌いな方には、全身清拭で対応しています。	ゆっくりと入浴ができるように、週2回の午後(13:30～15:30)3人程度実施している。歌が好きな方は、入浴中に一緒に歌を歌い、入浴を楽しんでいる。利用者の体調や入浴習慣に合わせ、柔軟に対応している。	

自己 評価	外部 評価	項 目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	日中は個々の体調を観察し安 静を促したり、夜間不眠者には 一緒にテレビを観たり話をする 等の対応をしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。	処方薬の説明書はファイリング し確認できるよう管理していま す。不明な点や内服薬・外用薬 を使用後の変化等あれば主治 医や薬剤師に報告・相談してい ます。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ぎせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	役割として家事の提供で、洗濯 物を干す畳む、食器を拭く、掃 除を一緒にしています。楽しみ として、話をする・歌を聴く 歌う等個々の趣向に合わせた 支援をしています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられる よう支援に努めている。また、 普段は行けないような場所でも 、本人の希望を把握し、家族 や地域の人々と協力しながら 出かけられるように支援してい る。	スタッフとの花見・近隣の散歩 、家族様との外出支援をして います。	行事担当者が主となり、年度 毎の行事予定表を作成され、 季節毎の外出支援をされている 。気分転換に、近隣の散歩や 神社へ行くこともある。「買い 物へ行きたい」との希望より、 個別対応する場合があります 。家族の協力を得て、外出を される方もおられる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、 お金を所持したり使えるよう に支援している。	金銭は事務所で預かっている が、利用者様の希望に沿って 使用できます。		

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>電話・手紙は、いつでも受け付けています。手紙は近隣の郵便局へスタッフと投函に行っています。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>共有スペースは過ごしやすく且つ安全面に配慮しています。足元は十分な広さがあります。壁面は季節感の飾りや習字等個々の作品も掲示しています。</p>	<p>利用者の作品や季節感が味わえる作品を壁面に飾り付けをしている。居心地よく生活していただけるように工夫している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>テレビの前にソファを置き、他の利用者様と談話、テレビ・ビデオ鑑賞等自由な時間を過ごされています。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>自宅で使用していた物の持ち込みや家具の配置等家族様・利用者様と相談して決めています。</p>	<p>基本は自宅で使用している使い慣れた物品などの持ち込みをお願いしている。入居前に必要な物品表を手渡し、仏壇や寝具・家具と生活必需品が自由に持ち込まれている。本人や家族と相談しながら快適な居住空間づくりに努めている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>建物はバリアフリーで安全面に配慮しています。自室内は利用者様が使い易く安全面に配慮しながら車椅子・歩行器・Pトイレを配置しています。</p>		

V アウトカム項目(1F) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 西町グループホーム

作成日 平成29年6月1日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	もっと外部との交流を増やす為の活動をしていく必要あり。	町内の方やボランティアなどに協力を要請し、外部交流を行っていく。	近隣の方や地元の小学校や幼稚園などに話をして、入居者様と交流できる時間を作る。	6ヵ月以内
2	13	職員にはもっと研修へ参加してもらい、新しい知識と技術を学ぶ必要あり。	積極的に研修やセミナーに参加する。	研修やセミナーの案内があれば、積極的に参加するよう声をかけていく。	6ヵ月以内
3	26	ケアマネージャーだけでなく介護職員ももっと入居者との関わりを増やし、状況を把握する。	担当の入居者が何を考え、何を希望されているかをしっかり聞いて、プランに反映させる。	職員一人一人が担当の入居者と話を出来る時間を増やしていく。	6ヵ月以内
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。